

コクチバス確認 - その後の対応と繁殖の可能性

藤田建太郎・高野裕樹¹・沢田裕一²・中井克樹³

1 滋賀県立大学大学院、2 滋賀県立大学、3 滋賀県立琵琶湖博物館

2005年の8～9月にかけて琵琶湖の北端部で複数個体のコクチバスが目視、捕獲された。これまで、琵琶湖本湖および河川でコクチバスの確認は数例あるが、散発的であるため琵琶湖内での再生産の可能性は低いと考えられる。しかしながら今回は複数個体が同時に目撃され、本種が過去の報告時よりも高密度で存在していたと考えられる。これらの状況を受け、琵琶湖でのコクチバス生息状況を明らかにするために滋賀県水産課と琵琶湖全域の漁協に協力を依頼し、調査を行ったので報告する。

11月21日から解禁となるエリ漁（ヒウオ漁）に混獲される外来魚に着目し、エリ漁解禁にあわせ、注意を喚起するポスターを作製し、各漁協に配布した。また、北湖に位置する浜分・百瀬・西浅井・朝日（尾上）漁協で捕獲された外来魚の全長組成を作成し、コクチバスの琵琶湖内での繁殖の可能性について考察を行った。